

令和5年度 事業報告について

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、5月8日から季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行しました。以後は法律に基づいた外出自粛の要請などはなくなり、感染対策は個人の判断に委ねられたほか、幅広い医療機関での患者の受け入れを目指すなど、3年余り続いた国のコロナ対策は大きな節目を迎えました。

当センターの受託事業契約額等も、令和2年度を底として順次回復基調となり、本年度決算では既にコロナ禍前の数値を上回っております。コロナの終息と合わせて大きな要因として、直近3ヶ年で時間当たり100円の引上げとなった最低賃金の改訂が挙げられます。今後も適正な額の設定に努めていきます。

本年度の受託事業実績は受託件数で1,999件となりました。就業延人数は37,513人で3.7%増、就業率は83.3%で前年比4.3ポイント増加しました。

契約金額は1億4,727万円余りで、内訳は公共関係で約5,595万円、民間事業所で約5,563万円、一般家庭で約3,458万円、独自事業で約110万円となり、対前年度約801万円の増額となりました。

労働者派遣事業においては、契約件数234件で、就業延人数は12,713人、契約額は5,532万円余りとなりました。内訳では公共関係で約3,330万円、民間事業所で約2,202万円となりました。新たな就業先の確保を念頭に努めていく必要があると考えています。

また、会員の働きやすい環境と安全性を高めるために職群班との連絡調整にも配慮しながら円滑な運営に努めました。

会員数については、前年度末434名に対し、令和5度末は432名と2名減少しました。会員全体の平均年齢は74.2歳と前年度に比べ若干上がっています。男女別では男性が74.7歳、女性が73.5歳で、会員の最高年齢は92歳です。粗入会率は市の60歳以上の人口15,798人に対し2.73%となっています。

以下、事業実施状況の概要を報告いたします。

1. 会員の加入状況

単位：人

区 分	男	女	計	摘 要
令和5年3月31日	267	167	434	
中途入会者数	29	37	66	
中途退会者数	47	21	68	
差引き増減	△18	16	△2	
令和6年3月31日	249	183	432	対前年2人減

(地区別会員数)

単位：人

区 分	男	女	計	摘 要
根上地区	85	94	179	
寺井地区	83	47	130	
辰口地区	81	42	123	
計	249	183	432	

2. 受託事業の実績

区 分	令和5年度	令和4年度	差 引	前年度比
受注件数(件)	1,999	2,202	△203	△9.2%
就業延人数(人)	37,513	36,140	1,373	3.7%
契約金額(円)	147,277,634	139,265,919	8,011,715	5.7%
就業率(%)	83.3	79.0	4.3	5.4%

(契約金額の内訳)

単位：千円

区 分	令和5年度	令和4年度	差 引	前年度比
公 共	55,955	45,442	10,513	23.1%
民間事業所	55,636	59,409	△3,773	△6.3%
一般家庭	34,586	33,173	1,413	4.2%
独自事業	1,101	1,241	△140	△11.2%
合 計	147,278	139,265	8,013	5.7%

3. 労働者派遣事業の実績

区 分	令和5年度	令和4年度	差 引	前年度比
契約件数 (件)	234	210	24	11.4%
就業延人数 (人)	12,713	13,446	△733	△5.4%
契約金額 (円)	55,328,306	58,556,548	△3,228,242	△5.5%

(契約金額の内訳)

単位：千円

区 分	令和5年度	令和4年度	差 引	前年度比
公 共	33,302	35,573	△2,271	△6.3%
民間事業所	22,026	22,983	△957	△4.1%
合 計	55,328	58,556	△3,228	△5.5%

4. 安全・適正就業の徹底

(1) 会員の安全・適正就業の向上

屋外技能作業班の会員を対象に安全パトロールを7月、10月の2回に渡り実施しました。

(2) マイクロバス運転技能講習の実施

マイクロバスを運転する場合、加齢によって生ずる体力の衰えが反射神経や動体視力等に影響します。不注意、油断等に起因する事故を防止するために七尾自動車学校の教官による運転技能講習で、人的輸送業務に携わる会員前期3名、後期9名が受講しました。

(3) 事故発生件数

事故件数は15件と前年度比△2件でした。

重篤な事故は発生しませんでした。少しの気の緩みで重大な結果になりうることもあるので、無理をせずに安全を確認して作業に携わることを心掛けていくことが重要です。事故件数の上位を占める刈払機による飛び石事故には、十分注意しながら事前の安全確保をしながら作業にかかるよう注意喚起をしました。

事故発生件数

傷害保険事故	3件
賠償責任保険事故	9件
その他事故	3件

5. 普及啓発活動の推進

シルバー人材センターの啓発宣伝とボランティア活動を兼ねて下記の活動を実施しました。

- (1) 全会員から友人・知人に入会勧誘のポスティングを行っていただきました。また市内のスーパーマーケット3ヶ所で、役員等による会員勧誘を実施しました。
- (2) 『感謝祭』は、恒例となった「すば一く寺井」を会場として、丸いも・ゆず・自家製野菜の販売に加えて、つきたて餅の無料配布を行いました。来場者は前年比で約1.5倍の660名でした。
- (3) 12月28日に各地区会員有志が門松づくりを行い、市役所本庁舎、能美警察署、能美ふるさとミュージアム、根上総合文化会館、寺井地区公民館、辰口福社会館、里山の湯、センター事務所の8カ所に門松を設置し、センター事業の啓発とPRに貢献戴きました。
- (4) 能美市の地域振興作物のひとつである「国造ゆず」は、後継者不足等が課題でシルバー会員有志による同好会が市農林課と連携しながら生産組合の下支えを図っていますが、一昨年夏の豪雨による土砂崩れで果樹の被害で収穫量が少なくなりましたが、畑の環境整備に力を尽くしています。
- (5) 毎月第2・第4金曜日に、ハローワーク小松において会員勧誘を目的に事務局職員が出張相談を行っています。

6. 独自事業「加賀丸いも」栽培の実施

加賀丸いも栽培は、41アールの作付け分の収穫を終えました。

酷暑と管理が行き届かなかったことで収量が激減し、出荷量は会員を含めた個人・団体の顧客に631kgを販売し、JA根上へは出荷することができませんでした。収入額は703,300円となりました。